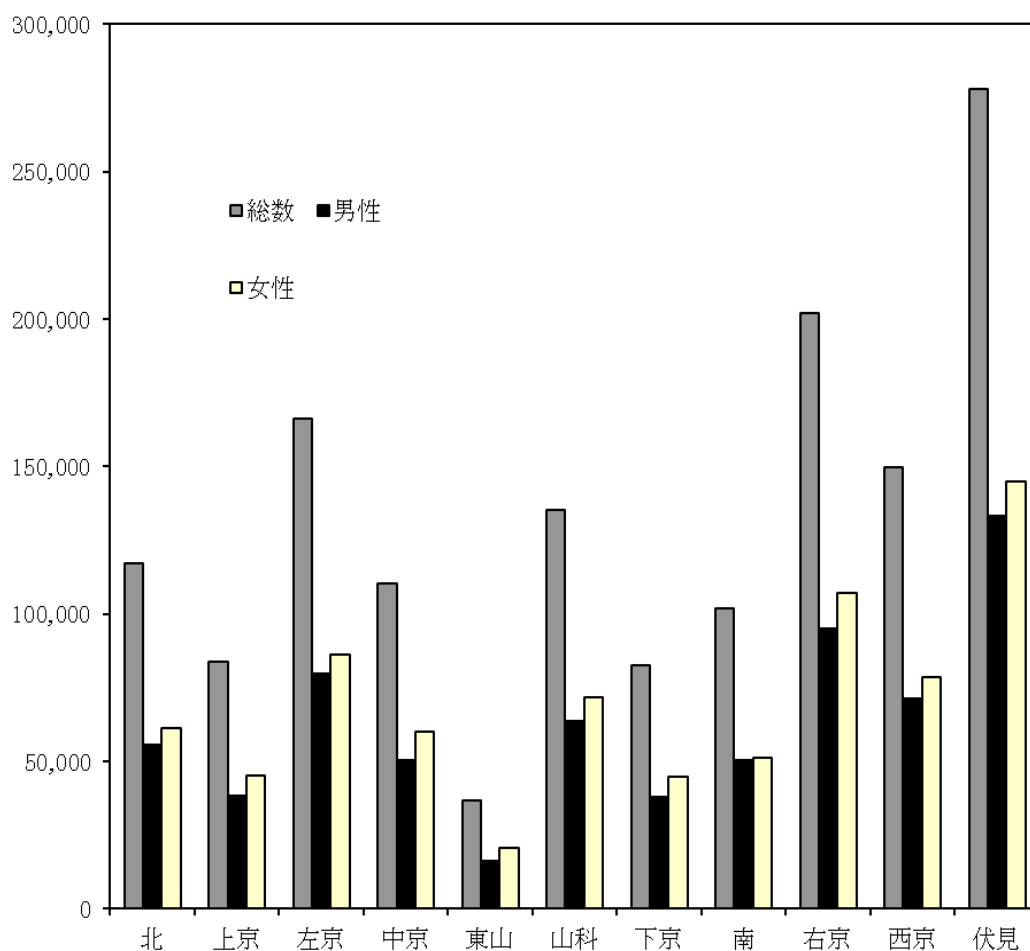


人口の概況

令和2年10月1日現在の京都市の人口（推計）は1,463,723人で、前年に比べて7,234人、0.49%減少した。世帯数（推計）は729,524世帯で、前年より1,611世帯、0.22%増加し、1世帯当たりの世帯人員は、前年の2.02人から0.01人減少して2.01人となった。行政区別人口では伏見区が最も多く、全市の20%近くを占めている。すべての行政区において前年より人口が減少している（図1）。

図1 行政区別人口

単位: 人



京都市の人口を年次推移で見ると、戦後順調に増加を続けたが、昭和50年代後半から微増状態となり、昭和60年代から平成6年までは微減傾向に転じた。平成7年以降は再び微増状態となっていたが、平成15年以降再び微減傾向に転じ、以降、微増減を繰り返している（図2、図3）。

図2 京都市総人口の年次推移

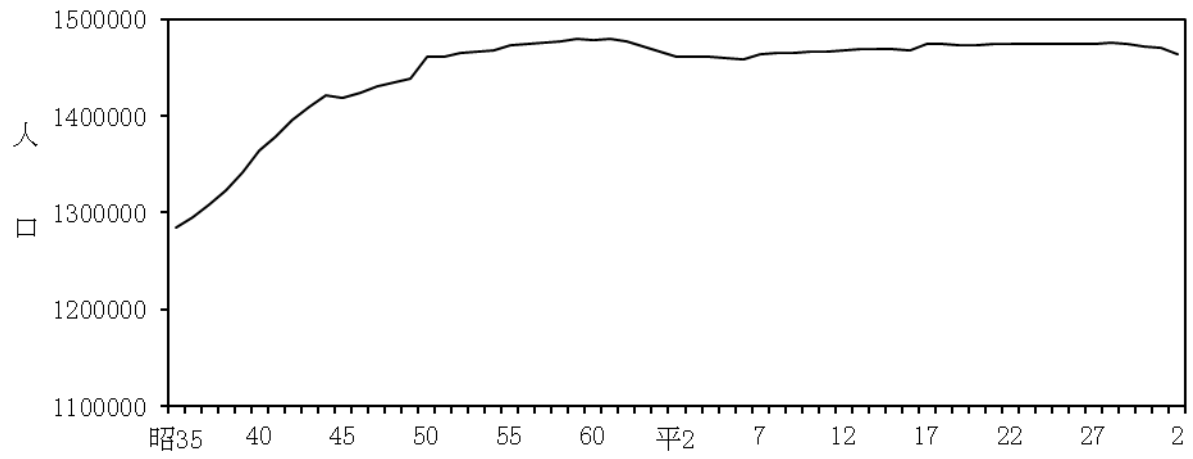
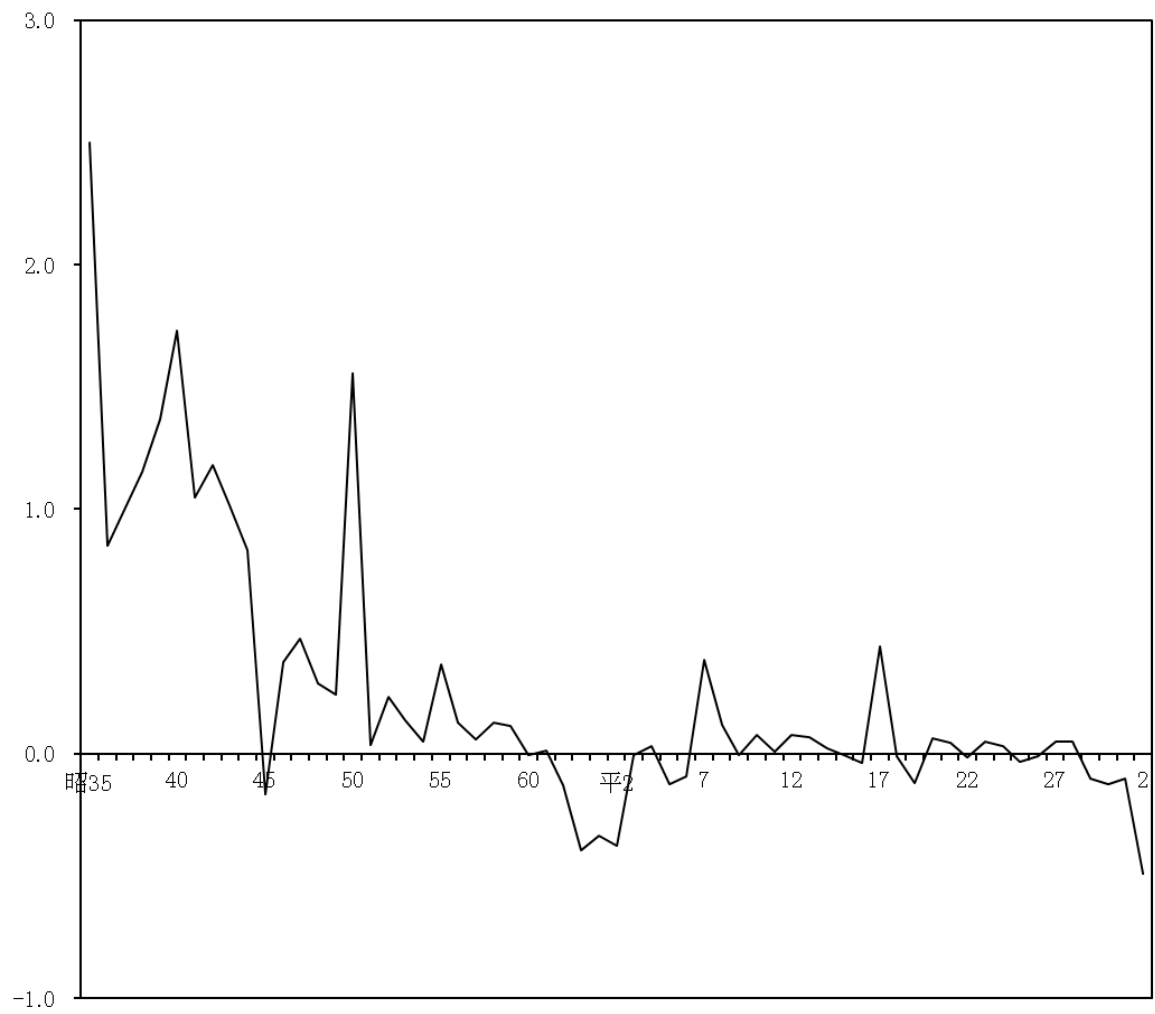


図3 人口増加率の年次推移

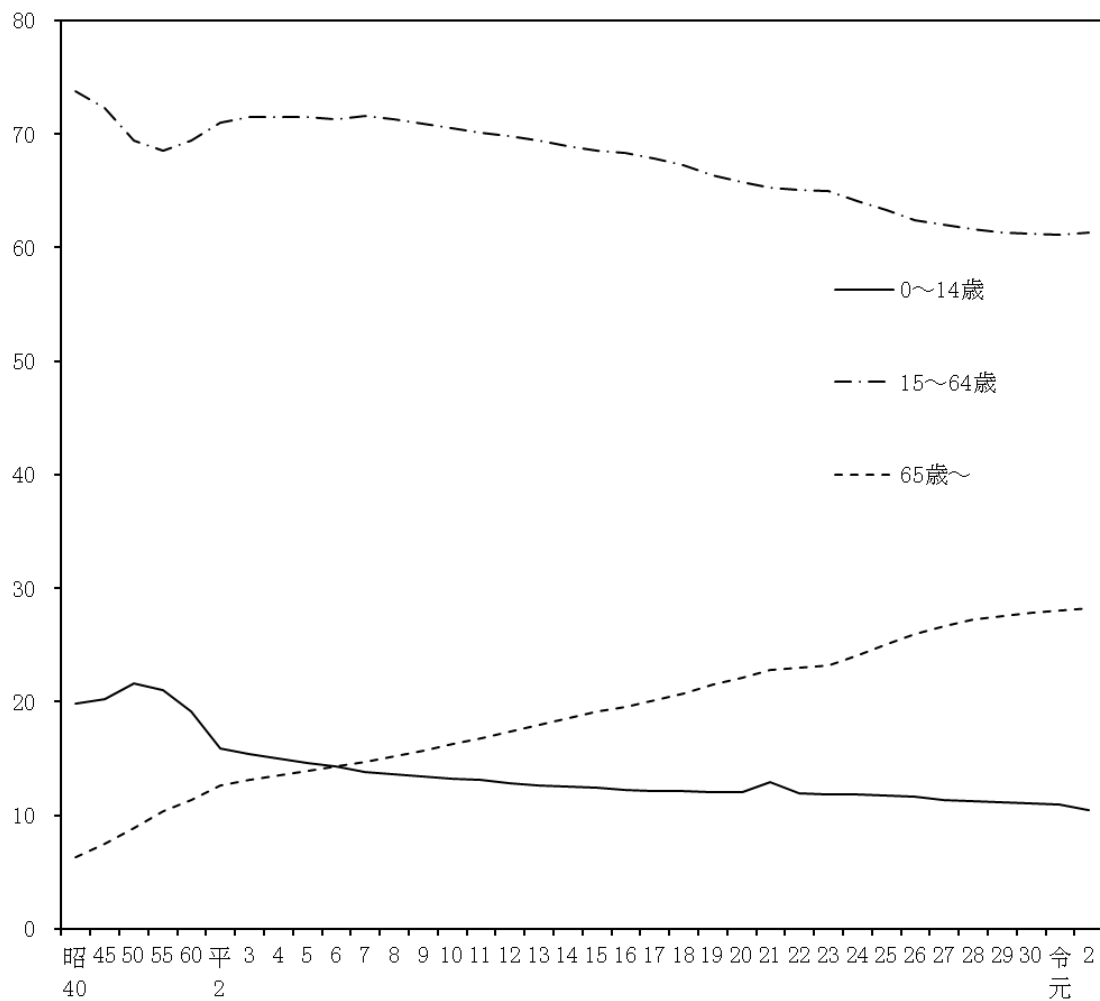
増加率/%



令和2年10月1日現在の京都市の人口（推計）を年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口が153,610人（10.5%）、15～64歳の生産年齢人口が896,782人（61.3%）、65歳以上の老年人口が413,331人（28.2%）となり、年少人口より老年人口の全人口に占める割合が17.7ポイント高い。前年と比べると、年少人口が占める割合は0.1ポイント低下、老年人口は0.3ポイント上昇しており、高齢化が続く状況にある（図4）。

図4 年齢3区分別人口構成比率の年次推移

構成割合/%



（注）平成2年までは国勢調査年